Good Neighbors Japan
www.gnjp.org

グッドネーバーズ・ジャパン
年次報告書
2014
2014.1-2014.12

ごあいさつ

特定非営利活動法人グッドネーバーズ・ジャパンは、国際 NGO グッドネーバーズの日本法人として、アジア・アフリカの 8 か国における子どもの教育支援を中心とした地域開発や、災害時の緊急支援などの活動を実施しています。グッドネーバーズ・インターナショナルは、昨年新たにカメルーン・キルギス共和国・モザンビーク・ウガンダに活動の場所を広げ、支援国は 35 か国を超えました。

2014 年、グッドネーバーズ・ジャパンは支援者の皆様や多くの関係者の方々に支えられて設立 10 周年を迎えました。これにともなったいくつかの 10 周年記念イベント・キャンペーンでは、多くの参加者の皆様に途上国の現状や支援の必要性を理解していただき、団体の活動を広めることができました。
海外では、公衆水場設置による衛生改善（インドネシア）、長距離を歩くことが難しい低学年児童対象の小学校建設（チャド）などの地域開発がグッドネーバーズ・ジャパン主体で進められたほか、フィリピン台風、中国雲南省地震、パキスタン洪水など様々な自然災害により、日常生活を奪われた人々のために現地に赴き緊急支援を実施しました。
国内では、グローバルキャンペーンである未就学児対象の『ちびっこおえかきコンテスト』が第 2 回目となり、江戸東京博物館での表彰式には 200 名以上の子ども達とその家族、園関係者の皆様がご来場くださいまいした。グッドネーバーズとは、『良き隣人』という意味です。それは、人を思いやり行動に移すということだと思います。表彰式では、このコンテストが未来を担う日本の子ども達が世界に触れ、親子で一緒に、一人ひとりにできることを考える機会になっている様子が伺えました。
また、一昨年に認定 NPO 法人に認定されてからは、企業など法人からの支援が増えています。前述した 10 周年関連事業のひとつ『古着 10 トンキャンペーン』は、リサイクル事業を展開している企業との協働事業であり、企業の事業分野や専門性を活かした社会貢献活動という新しい支援の形が生まれました。
このような海外・国内での様々な事業の広がりは、設立以来 10 年にわたり支えてくださった皆様の温かいご支援の賜物であり、改めて感謝致します。

今年も一年間の活動をまとめた「年次報告書」を作成しました。これにより、支援者・関係者の皆様が支援の成果や意義を実感していただければ幸いです。より多くの子ども達に、そして彼らを取り巻く地域全体に質の高い支援を届けられるよう、今後も継続的なご関心、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

福井 玲

グッドネーバーズ・ジャパン代表理事
東京大学教授

ビジョン　- 目指す世界 -

子どもの笑顔にあふれ、
誰もが人間らしく生きられる社会

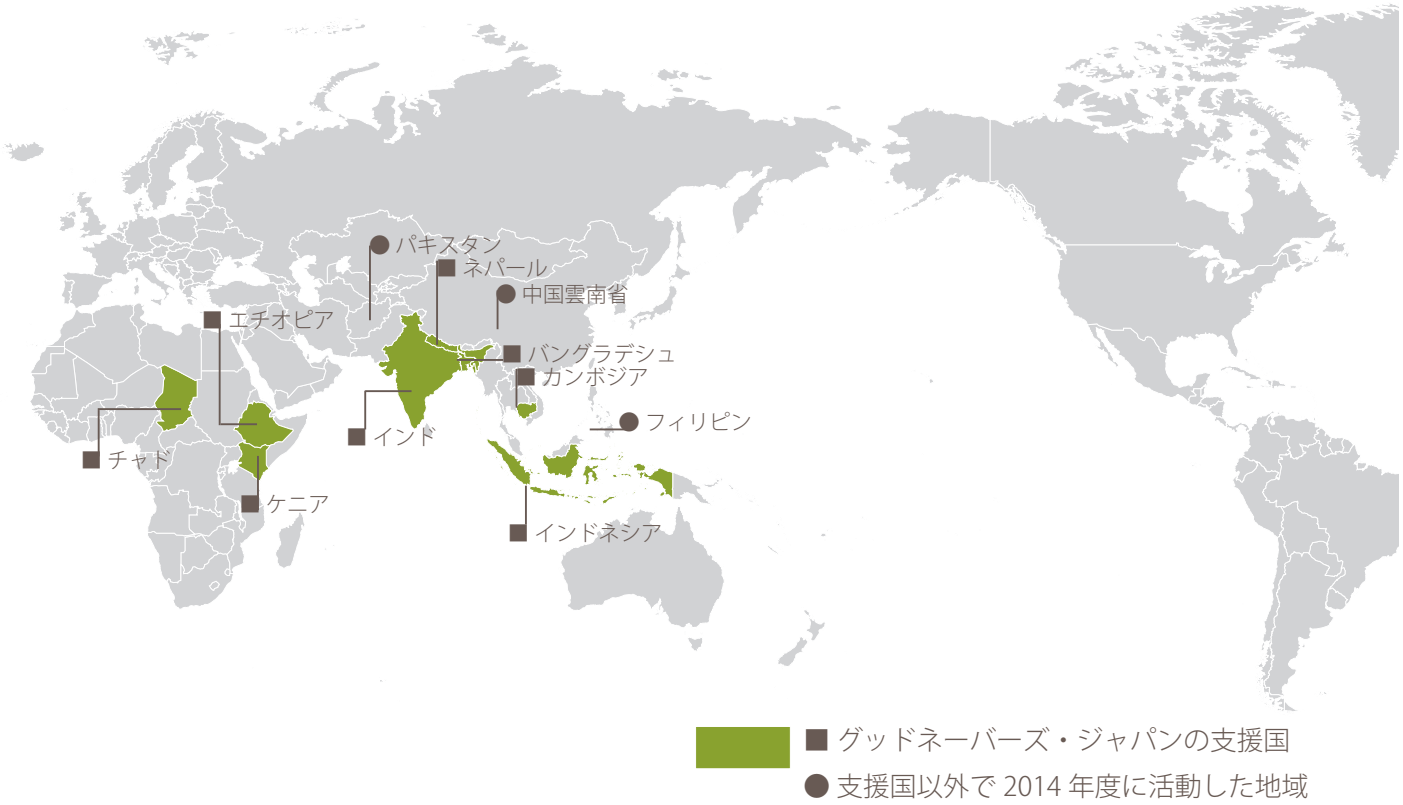
ミッション　- 取り組んでいること -

国内外のパートナーと共に、貧困及び差別の原因や災害・紛争による脅威を取り除く

目次

P2　ごあいさつ
P3　活動地域
P4　海外のコミュニティー開発事業
P20　緊急支援活動
P22　国内キャンペーン・イベント・ネットワーク
P26　会計報告・組織概要・役員一覧

活動地域



今、世界では・・・

小学校に通えない子ども達の数、5,780 万人。

1 日約 1 万 7,000 人の子どもが 5 歳の誕生日を迎えずに亡くなっています。

児童労働に従事する子ども、1 億 6,800 万人。

9 人に 1 人が充分な食べ物を得られません。

貧困から発生する様々な問題において、特に被害を受けやすいのが子ども達です。
私たちに何かできるでしょうか。

参考：EFA グローバルモニタリング・レポート 2013/4、国連 Levels and Trends in Child Mortality 2014、ILO グローバルレポート 2013、FAO 2015 報告書

2014 活動報告

カンボジア

ハロ！（こんにちは）

グッドネーバーズ・カンボジアへの温かいご支援に心より感謝申し上げます。

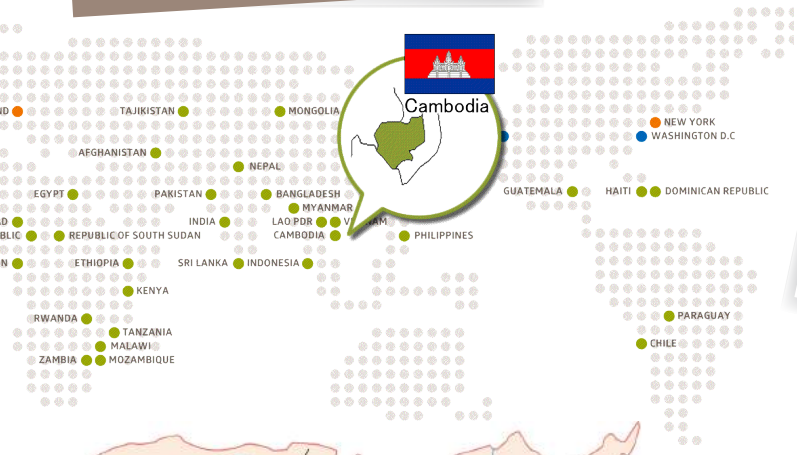
私達は、支援地域の人々の収入向上や自立につながる教育や、地域との深いパートナーシップにより、持続可能な発展を目指しています。

いただいたご寄付は、様々な活動に活かされています。例えば2014年は、学用品や制服、奨学金、保護が必要な子どものケア、英語教育、保護者向けの啓発、保健教育、健康診断、給食といった子ども達への支援、トイレや浄水設備など地域の支援、女性や農民の自助グループの設立、貧困家庭へのマイクロクレジット、魚の養殖や養鶏といった収入向上や自立を促す支援を行いました。また、児童労働撤廃や子どもの権利保護のためのキャンペーン、地域開発委員会の創設などの啓発事業も行いました。これらの活動は、非識字、飢餓、過度な医療費負担、子どもや女性への暴力、高利貸し利用による貧困の悪循環など、人々を取り巻く脅威を減らすために大きな役割を果たしています。

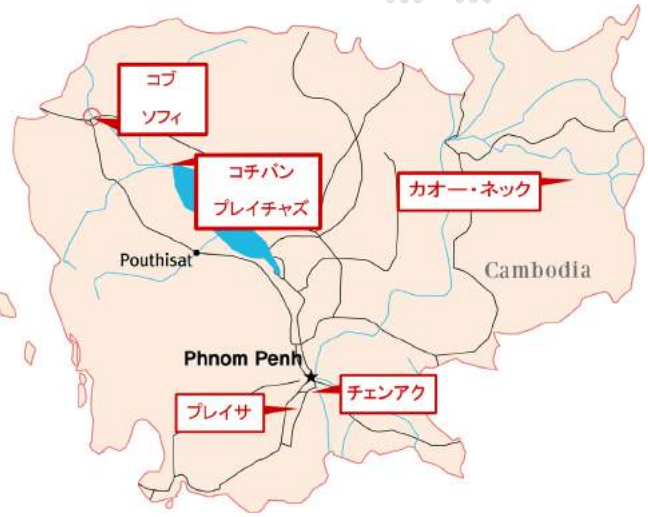
支援を必要としている人々は依然として多くおり、子ども達が希望を持って生きていける社会を実現するためには、まだまだやらなければならないことがたくさんあります。どうか、今後も私達と思いを共にし、全ての人々が貧困から抜け出し尊厳をもって暮らせる世界をつくるべく、私達の活動にご理解とご協力をお願いいたします。

グッドネーバーズ・カンボジア事務局長　イ・スンブン

活動地域



グッドネーバーズ・カンボジア　スタッフ一同



活動の成果

2014 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 1,687 世帯に太陽光発電導入のために補助金を提供。
- 5,321 人の子どもに健康診断を実施。613 人を医療施設で治療。
- 304 個の浄水器により 800 人に安全な水を提供。
- 収入向上プログラムに 297 世帯が新たに参加。（計 1,162 世帯が参加）
- 『国際こどもの日』に子どもの権利のイベントを主催、5,056 人の大人と子どもが参加。

ソーラー発電で暮らしを明るく

健康診断

村に初めて学校ができた日

私はスロン ペン、42 歳です。グッドネーバーズ・カンボジア（GNC）の地域開発プロジェクトが実施されているカオー・ネック地域に住み、7 人の子どもがいます。

以前この地域には、学校に通っている子どもはいませんでした。私が生まれた時からここには学校がなく、学校がある大きな町は約 7km も離れているからです。森の中を通って近道をすれば 3km 程ですが、道は人気もなく安全でありません。

地域の教育庁には過去に何度も学校建設を要請しましたが、規定の児童数がいないから、と却下されました。村で多少なりとも読み書きができるのは 4 名だけでほとんどは文字が読めず、子ども達に同じ思いはさせたくありませんでしたが、どうすればいいのか分かりませんでした。

しかし GNC のスタッフが教育の重要性について啓蒙し、教育庁にも働きかけてくれました。そして村人が一丸となって労働力と時間を提供し、ついに学校ができたのです。村の子ども達が幸せそうに笑い、授業を受けているのを見ることができて本当に嬉しい。地域の全ての子どもが能力をつけ、将来地域をより発展させてくれることを望んでいます。

スロン ペンさん

念願の学校ができました

2014 活動報告

インドネシア

スラマット シアン！（こんにちは）

サポーターの皆様、こんにちは。

2014 年、インドネシアは年明けからブカシ地域を中心に大統領宮殿も浸水するような大規模な洪水に見舞われ、さらに 2 月には、北スマトラ州のシナブン火山が噴火し、メダンなど周辺地域が被害を受けたため、子ども達の心のケアを始めとする緊急支援を実施しました。また、大統領選挙に伴う政治的・社会的な混乱もありましたが 7 月には新大統領が誕生し、新たな出発の年となりました。

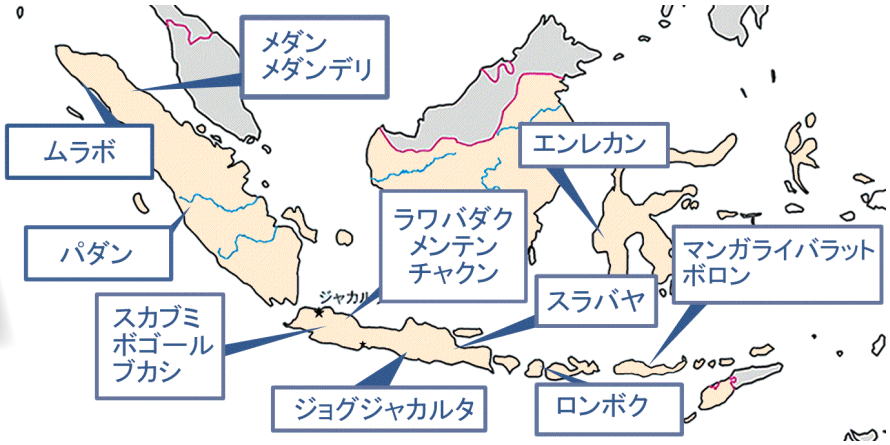
グッドネーバーズ・インドネシアでは、既存の地域開発に加え、新しい事業を始めることができました。例えば、国際移住機関（IOM）連携事業の一環として、メダン地域にある難民キャンプの子ども達を対象にした教育プログラムなどです。今までの収入向上支援も順調に成果を上げ、スカブミ地域のパパイヤ農園では、従来の青果販売に加えスナック菓子などの加工品生産も行われ、家計の収入向上につながっています。

地域開発は、短い期間で成果がでるものではなく、息の長い取り組みが必要とされます。しかし、小さくても一つひとつの活動を積み重ねることで実を結ぶと確信しています。そしてそれは、サポーターの皆様がいつもインドネシアの子ども達に関心を寄せ、見守ってくださっているお陰に他なりません。改めて、皆様の温かいご支援に感謝を申し上げます。

グッドネーバーズ・インドネシア事務局長　パク・ドンチョル

活動地域

グッドネーバーズ・インドネシア　スタッフ一同



活動の成果

2014 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 支援地域の初等教育最終学年の児童のうち、92% が進学。
- 142 名の教師に研修を実施。
- 4,298 人に虫下しの薬を、166 人に蚊帳を配布。
- 衛生、健康に関する教育を 2,307 人に実施。
- 292 世帯が家畜と漁業の収入向上プログラムに参加。

保健のプログラム

畜産の収入向上支援

きれいな水で体を洗えるように

2014 年 6 月、グッドネーバーズ・ジャパンはムラボ地区パシィ・ジュンパ村に公衆水場 4 基設置による衛生改善プロジェクトを実施しました。

パシィ・ジュンパ村は各家庭に小さな井戸はありますが、どの井戸も水質が悪く、数年前グッドネーバーズが給水施設を支援しました。そのため、飲料水や調理に必要な衛生的な水を手に入れられるようになりましたが、トイレと体を洗う場所がない状況は改善しておらず、村人達は未だに川でトイレと水浴びをしなければならない状況でした。下水道が整備されていないインドネシアの農村部では、川の上に木とビニールシートでスペースを作り、トイレとして使っている家庭が多くあります。パシィ・ジュンパ村も同様で、排泄物はそのまま川に流され、その川の水で体を洗っているのが現状でした。その結果、村民の健康状態にも悪影響がでたり、皮膚病の患者がでたり、慢性的に下痢の症状を訴える子どもも少なくありませんでした。

不衛生な川での水浴び

トイレができました

今回の支援により、同村に住む 365 世帯のうち約 150 世帯が安全で清潔な水場を利用できるようになりました。男女のスペースも分かれているため、女性が周囲の視線を気にしたり、危険を感じながら水浴びをすることもなくなり、また、特に感染病にかかりやすい子ども達の健康を守ることにもつながっています。水場を長く清潔に保てるよう掃除用具も提供し、住民が当番制で掃除をしています。

2014 活動報告

バングラデシュ

バロ アチェン?（お元気ですか?）

昨年は、世界中から寄せられるサポーター様のご支援により、バングラデシュの子ども達がまた一回り成長し、地域や家庭に幸せな時間が流れる一年となりました。

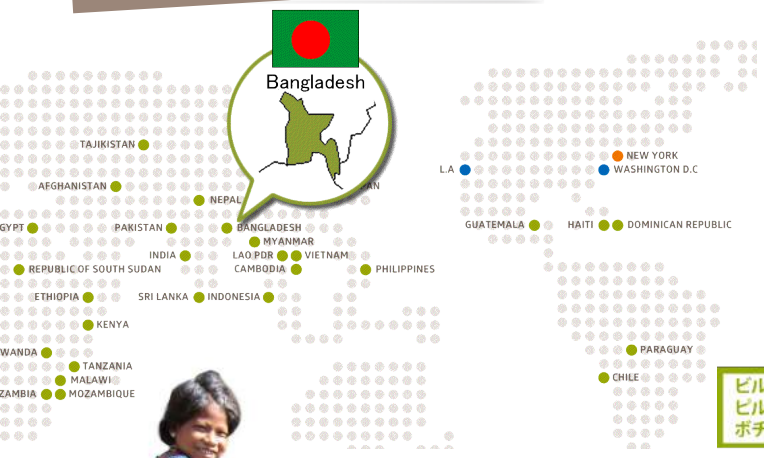
バングラデシュでは、2014 年の総選挙の影響で政情不安定になりデモが続いています。その余波は社会や経済、国民の暮らしに及び、特に 2015 年に入ってから事態が悪化して物価上昇や人命被害にまで発展しています。

このような中、グッドネーバーズ・バングラデシュ（GNB）は、国内の混乱の中で最も影響を受けやすい子どもと女性を最優先に活動しています。昨年は「子ども会議」を運営し、子どもの権利について様々なキャンペーンを行いました。早婚や児童労働が根強く残るバングラデシュにおいて、子ども達一人が夢を持つことはとても大切なことであり、成長し無事に成人になるまで、地域が見守り保護する義務があるという、その認識を広めるために多くの時間を費やしました。

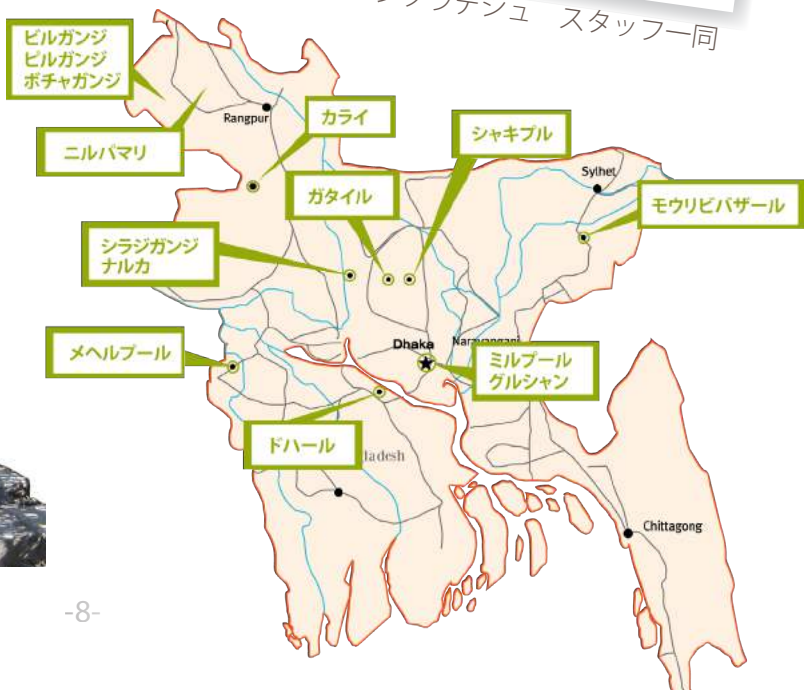
GNB は皆様のご関心と温かいお気持ちに支えられ、来年 20 周年を迎えます。最近では、私達の子どもサポータープログラムで支援を受けた子どもが、バングラデシュの国費奨学生に抜擢され留学が実現したケースもあります。皆様のご支援によって子ども達が大きく成長していることに改めて感謝するとともに、今後もバングラデシュの希望である彼らを全力で支援していく所存です。

グッドネーバーズ・バングラデシュ事務局長　キム・ジョンソク

活動地域



グッドネーバーズ・バングラデシュ　スタッフ一同



活動の成果

2014 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 子どもサポータープログラムに参加する 16,197 世帯に食糧を配布。
- 14,958 人が、地域組合の健康保険に加入。
- 18,321 人の子どもに制服や学用品を提供。
- 1,485 人が利用する衛生的なトイレを 297 基設置。
- 畜産や漁業に関するワークショップに 5,871 人が参加し、新しい技術や知識を習得。

制服や通学用バッグを提供

トイレができました！

将来はお医者さんになりたい

こんにちは、私はガタイルに住んでいるミナラ・ハツン、2006 年からグッドネーバーズ・バングラデシュ（GNB) の支援を受けています。

家は農家ですが貧しく、以前は三食の食事もままならず、病気に罹ると偽医者に頼るしかありませんでした。将来のための蓄えはもちろんありませんでした。

しかし私と姉が支援対象の子どもとして登録を受けてから、状況は変わりました。制服などの学用品、栄養のある食事、3 か月毎の健康診断などの支援を受けているほか、子どもの権利向上を啓発する活動にも参加しています。両親もたまにミーティングを見に来てくれます。

ミナラ ハツンさん

お医者さんを目指して勉強中

母は GNB の組合にも入っていて、マイクロファイナンスプログラムに参加し家計を助けています。私たちの経済状況は変わり、ちゃんとした食事を 1 日 3 食とれるようになりました。

姉は中等学校を卒業し、看護学校に入ることができました。私はクラスで 1 番になれるよういつも努力していて、2014 年の試験では 1 番良い成績をとりました。私は将来はお医者さんになりたいです。近くに住んでいる人が病気で苦しむのを見て心が痛むからです。近所に住む人や地域に奉仕したいです。

2014 活動報告

インド

ナマステ（こんにちは）

インドの子ども達を支援してくださる全ての皆様に、グッドネーバーズ・インドを代表して深く感謝を申し上げます。私達は、全ての子ども達が質の高い教育を受け、十分に栄養のある食事を摂り、健康的に成長できるよう、日々尽力しています。

私達が実施している、教育、健康、水・公衆衛生、そして収入向上といった様々な分野のプロジェクトは、子ども達や若者、そして母親達に良い影響をもたらしていますが、やるべき事はまだたくさんあります。

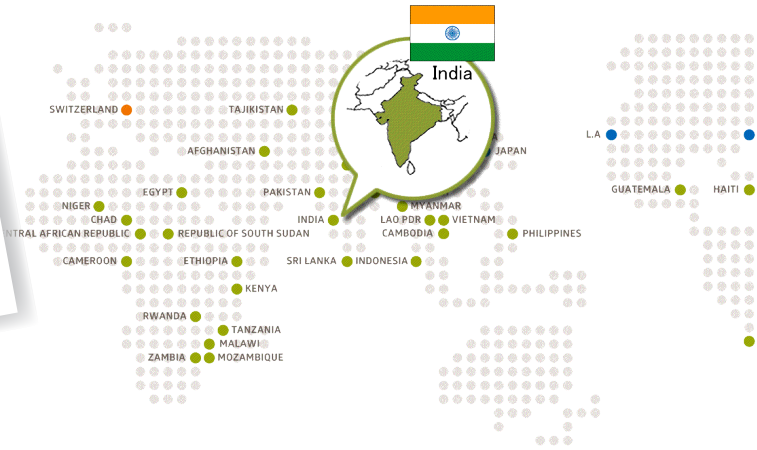
インドでは、2014 年の政権交代に伴い政治的な変化が起こっています。現政府は主要各国との関係に変化を与え、国の印象や経済発展を後押しし、また国外からの投資も増えるのではないかと予想されています。様々な政策を実施することで、雇用創出、社会基盤や農業の開発、健康や教育といった分野を強化する考えで、また、食糧・野菜・石油などの価格を引き下げることを政府は最優先事項として掲げています。

このような変化の中で、子どもや女性、地方や都市のスラム街に住む低所得層の人々など、弱者が置き去りにされ、国内での格差が広がることを防ぐためにも、私達はより一層活動に力を入れる必要があります。グッドネーバーズ・インドは、子ども達と地域の人々が、より明るい未来を手に入れられるよう、主体的、積極的に支援に取り組みます。

グッドネーバーズ・インド事務局長　キム・ミンジョン

活動地域

グッドネーバーズ・インド　スタッフ一同



活動の成果

2014 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 4,018 人の子どもに学用品と制服を提供。
- 7,594 人に衛生・健康に関する教育を実施。
- 10 個の浄水器により 4,273 人に安全な水を提供。
- 4,018 人の子どもに健康診断を実施。
- グッドネーバーズの医療施設で 15,678 人を治療。

おそろいの体操服

健康診断

「人生は変えられる」

職を得たニーラマさん

私はニーラマ、4 人の子ども達の母親です。8 年前に夫が建設現場の仕事を見つけ、バンガロールのサラジャプール地区に移住しました。私と夫はそこで日雇い労働者として働き始めましたが、わずかな稼ぎしか得られず生活は困難でした。仕事は不規則で、子ども達の教育や健康、その他の基本的な生活基盤などを考える余裕がなかったのです。

ある晴れた日、グッドネーバースの職員が、私達や子ども達が受けられる支援について説明しに来てくれました。私は喜んで子ども達を子どもサポータープログラムに登録し、子ども達も元気に学校へ行きました。

また、洋裁の職業訓練も紹介してくれ、私は仕事の後、半年間訓練に通いました。さらにその間私は自助グループに加入し、半年間貯蓄をしました。これに関しては夫は非協力的で、理解を得られなったのですが、半年後私は貯めたお金でミシンを購入し、一着約 6 ドルから 8 ドルで自分で注文を受け始めました。幸運なことに、大量の注文が来て一日中仕立ての仕事で大忙しです。

今は夫も私が仕事をする様子を喜んで見てくれて、自由に商売ができるよう協力してくれています。新しいミシンを購入し、事業を拡大するために貯金もしています。

今、家族はとても幸せ。「人生は変えられる」と教えてくれたグッドネーバーズに感謝しています。

2014 活動報告

ネパール

ナマステ（こんにちは）

グッドネーバーズ・ネパール（GNN）では特に子ども達の未来に関わるニーズを中心に活動しています。様々なニーズを知るにつれて活動も拡大し、徐々に驚くべき変化が生まれています。

昨年は西部のカスキとゴルカで新プロジェクトが始まり、4,300 名の子ども達が登録され、ネパール全体で 26,024 人の子ども達（女の子 13,644 人、男の子 12,380 人）を支援することができました。保健プログラムでも大きな成果があり、23,291 人に保健サービスを、1,245 世帯に安全な水を提供しました。さらに、収入向上支援プログラムでは 873 人の個人と 63 グループが起業しています。

GNN としてのもう一つの大きな目標は、向こう 5 か年における新規事業に関するプロジェクト協定を作成し、ネパールの社会福祉協議会より承認を受けることです。地域のパートナー組織のガバナンスを強化するために技術支援を行い、基盤を強化し、自立をサポートします。

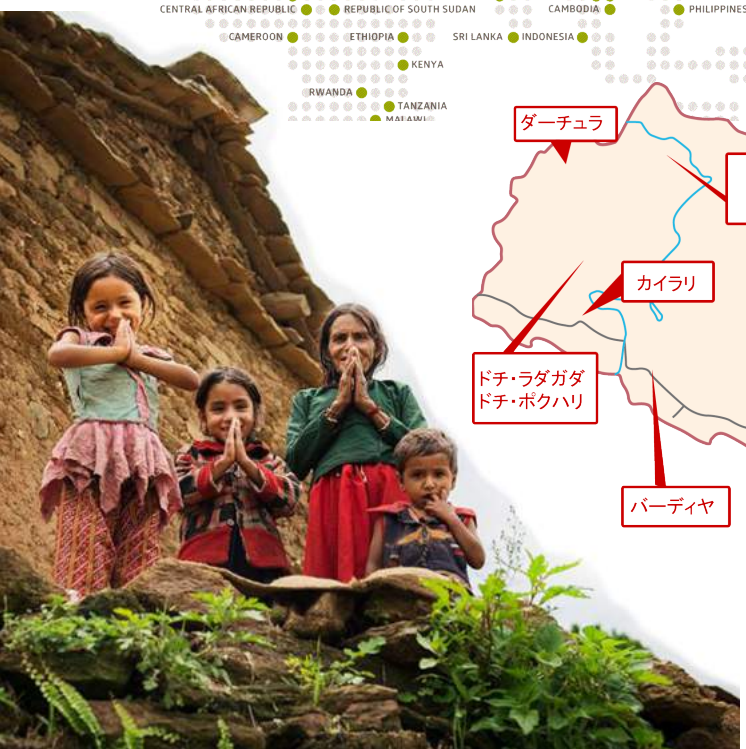
GNN 全てのスタッフが私達の目標を達成するために日々努力してくれていることをいつも感謝しています。ネパール政府の関係省庁、関係機関、パートナー組織、そして地域コミュニティの皆様の貴重で献身的なご協力にも感謝いたします。何より、サポーターの皆様のご支援なくしては GNN のこのような活動そして、成果を生みだすことは不可能でした。

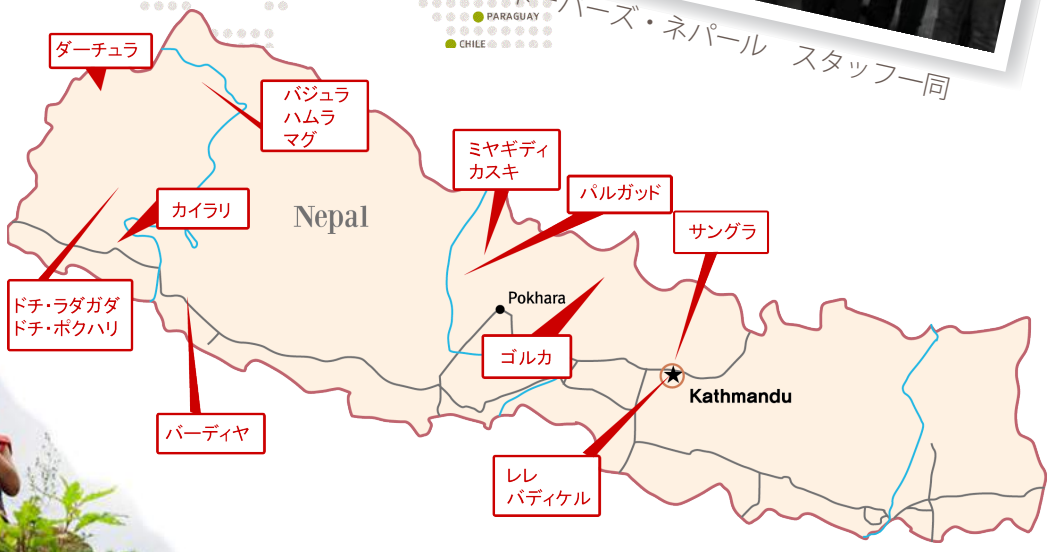
様々な段階で様々な方からご支援をいただけることを非常に喜ばしく思い、重ねて感謝いたします。

グッドネーバーズ・ネパール事務局長　ロ・キョンフ

活動地域

グッドネーバーズ・ネパール　スタッフ一同





活動の成果

2014 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 井戸やポンプの設置により 11,056 人に水資源を提供。
- 農業開発に関するセミナーに 4,179 世帯が参加。
- 中学校を 11 校建設し、3,407 人の子どもに教育の機会を提供。
- 65 人の HIV 陽性者に医療施設への移動支援と、将来設計教育を実施。
- ゴミの分別や回収のトレーニングを 3 か所で実施し、185 人が参加。157 か所にゴミ箱を設置。

農業研修

ゴミ箱で町をきれいに

勉強を続けさせてくれた GNN

リーナ ロッカさん

私の名前はリーナ・ロッカ、17 才です。ダリット（カースト制度で最も理不尽な差別を受ける不可触民）です。両親と妹 2 人、弟 1 人とラリトプル郡のバディケル地域に住んでいます。

母には悪性骨腫瘍があり、治療に毎月 1 万ネパールルピー（約 1 万 2 千円）が必要です。父が小さな靴屋をやって家計を支え、少し土地もありますが生きていくのには十分ではなく、生活必需品にも事欠く暮らしでした。

2009 年にグッドネーバーズ・ネパール（GNN）から支援を受けられることになって幸運でした。質の高い教育を受けることができ、私自身も努力して 2012 年に中等教育修了試験に合格できました。

私には、看護師になりたいという夢があるのですが、合格はしたものの両親からは私の高等教育の学費は出してもらえないとはわかっていたので、勉強が続けられるか心配でした。しかしまた GNN の支援を受けて予備校に通うことができ、看護学校の入試に合格してホープ・インターナショナル・カレッジの奨学金も得ることができました。衣服、文具、交通費等の費用は奨学金ではまかなえないので、これらの費用も GNN に支援をいただいたことを感謝しています。

今私は看護学校の 2 年生ですが、お金のことを心配してストレスを感じることなく勉強に集中できています。目標を達成するために一生懸命頑張っています。母の治療を支えられるように、卒業して職を得たいと思っています。

2014 活動報告

ケニア

ハバリガニ？（ごきげんいかが？）

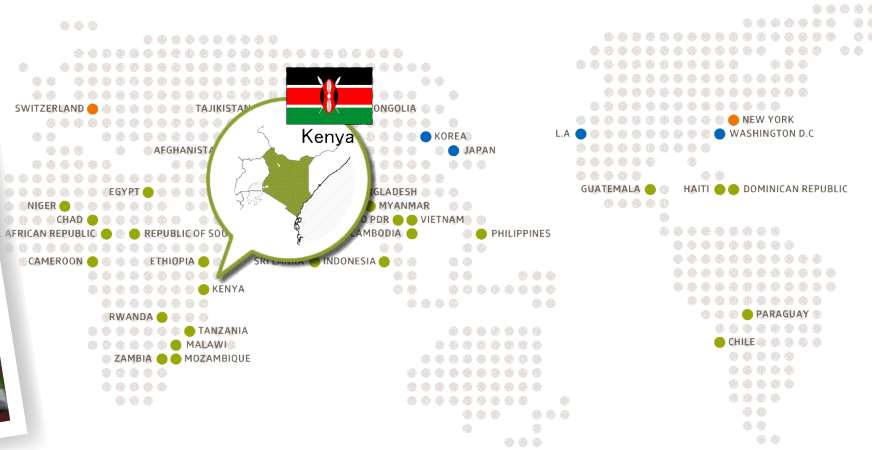
高く青い空と美しい自然、多様な部族のエネルギーに溢れたケニアは、大都市ナイロビを中心に経済成長を遂げる中、世界最大のスラムがあるという側面も抱えています。2014 年は急激な為替変動、ソマリアなど周辺国の紛争、イスラム過激派によるテロなどで大変な年ではありましたが、サポーター様のご支援により、子ども達、地域の人々に数々の良い変化がありました。

4 月、コロゴチョという長年活動を続けているスラム地域で、グローリー小学校の子ども達を対象に、『FC Hope』というサッカーチームが結成されました。これは単なるサッカークラブではなく、ストリートチルドレンだった子ども達が学校に通い、サッカーでチームワークを学びながら夢を育めるよう支援するプログラムです。また、マサイ族の女子生徒のグループが、自分の体を大事にすることを学び、性の正しい知識を得られるような支援もしました。一方、緊急支援事業の一環として南スーダンとの国境に隣接したカクマ難民キャンプでは、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）との連携による難民支援を始め、南スーダンやソマリア難民のシェルターを運営しています。

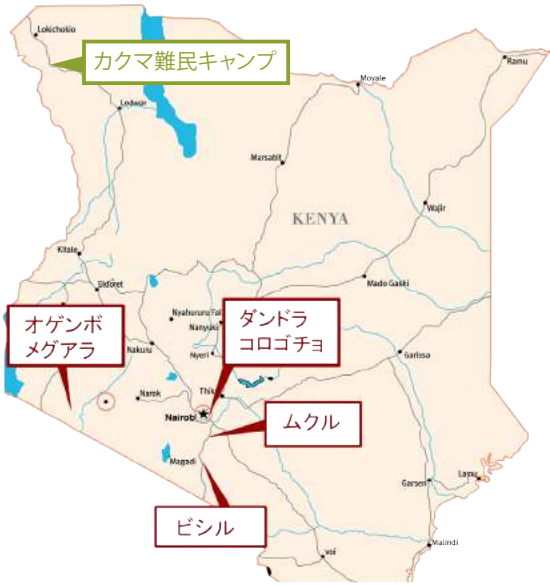
2015 年、グッドネーバーズ・ケニアは 20 周年を迎えます。20 年を通して達成した、6 か所の地域開発事業所における成果、この全てはサポーターの皆様の変わりないご支援によるものです。今後も、私どもグッドネーバーズ・ケニアと一緒に、子ども達が元気に成長し、持続可能な地域社を作る活動にご参加ください。

グッドネーバーズ・ケニア事務局長　ソン・スジン

活動地域



グッドネーバーズ・ケニア　スタッフ一同



活動の成果

2014 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- スポーツ・デイのイベントに 4,612 人が参加。
- 7,269 人の子ども達に健康診断を実施。3,608 人を医療施設で治療。
- 9,359 人の子ども達に制服や学用品を提供。
- 毎月 4,040 人の女子生徒に生理用ナプキンを配布。
- 4,835 人の村人が利用する穴だらけの道路の補修、草刈り、排水路の整備を実施し、300 人の住民ボランティアが参加。

健康診断

卒業式

祖国から逃れた人々のために

グッドネーバーズ・ケニアは 2014 年に UNHCR（国連難民弁務官事務所）と連携し、難民支援事業を開始しました。スーダン内戦によって発生した難民を保護する目的で 1992 年に設立されたケニアのカクマ難民キャンプは、ケニアの北西部に位置し、周辺のおよそ 8 か国から約 18 万人の難民が身を寄せています。 ここでは、2013 年 12 月に起きた南スーダンの内戦から逃がれた難民が多く流入したため受け入れ人数の限界を超え、基本的な住居環境さえ保障されておらず、難民は泥やレンガの壁と防水材で臨時の居住スペースを作って暮らしている状況です。

屋根すらない居住スペース

2002 年にスーダンから逃れたマリーさん

屋根などを補修

グッドネーバーズ・ケニアは長期滞留難民の 215 世帯を対象に建築資材を提供し、家屋の修繕をしました。トタン屋根のほか、家屋の柱、窓、扉なども整備し、レンガの上に屋根をのせるだけではなく、耐久性のある骨組みがしっかりとした家屋を建築して、難民の方々が少しでも安全な居住環境で生活できるよう支援しました。

2014 活動報告

エチオピア

エンデミナチウ！デーナナチウ？（こんにちは！お元気ですか？）

2014 年、サポーターの皆様の心のこもったご支援を届けるため、グッドネーバーズ・エチオピア（GNE）は人々の苦しみに寄り添い、より良い暮らしを提供しようと努力を重ねました。

例えばヘトサ地域では、キルリサ学校と図書館を建設しました。また水・保健衛生事業としてシダマ地域で井戸を設置、リデタとグレレ地域にそれぞれトイレを作り、さらに、これは初めての試みなのですが、すべての支援対象の子ども達をに駆虫剤（虫下し）を支給しました。

現在エチオピアは、ここ 5 年で約 10% の高い経済成長率を誇っています。しかし、それとは裏腹に、国民一人ひとりは今なお経済的苦痛に喘ぎ、日々の不安を抱えながら暮らしているのが実情です。

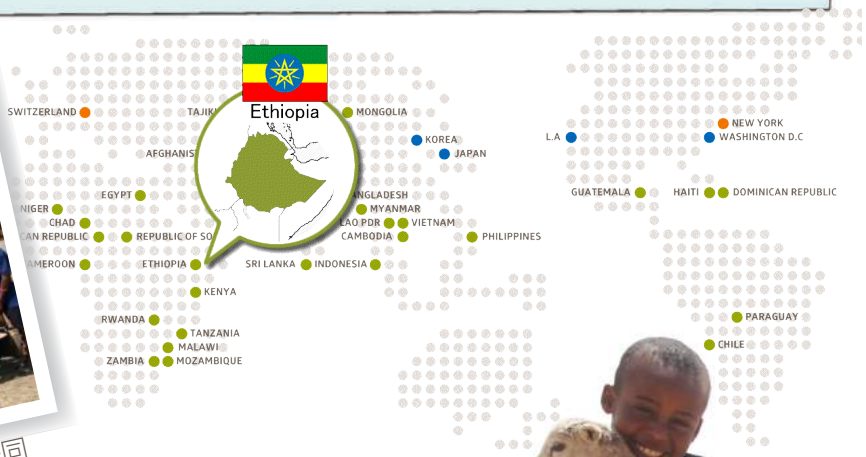
GNE は、より持続的に生活の質を向上させるために、家庭の経済状況の改善が重要であると再認識するに至りました。そして、経済的問題をより実質的にダイレクトに解決できるようにと、昨年 6 つの農業組合を組織しました。その中でヘトサ地域の小麦組合が最も活発に運営されており、今後も組合を通して、収入向上を持続的に支援したいと考えております。

このような取り組みは私達だけの力では不可能であり、サポーターの皆様のご関心とご支援があって初めて成し遂げられるものです。私達 GNE は最善を尽くすことを約束しますので、どうぞ今後も温かいご支援をお願い致します。

グッドネーバーズ・エチオピア事務局長　キム・チュルホ

活動地域

グッドネーバーズ・エチオピア　スタッフ一同



活動の成果

2014 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 23,040 人の子どもや大人が利用する図書館を設立。
- 1,544 人の子どもにワクチンを接種。
- 6,000 人分のゴミを処理するゴミ処理施設を建設。
- 支援対象の 92 人の子どもの母親に識字教育（読み書き・計算）を実施。
- 小中学校の女子生徒 156 人に HIV 検査キットを含む衛生教育キットを配布。

みんなが利用できる図書館

身体測定

幼稚園から高校までサポート

私はフィッシャー・H・マリアム、20 歳です。私の家族は、私と両親、兄 2 人、姉 1 人、弟 1 人の 7 人家族です。首都、アディスアベバのリデタという、非常に人口密度の高いスラム街で生まれました。そこの住人は大抵、ちょっとした商売や日雇い労働をしています。父はお店で日用品を売っていて、母は専業主婦です。

私はグッドネーバーズのメルカム幼稚園で就学前の教育を受けることができました。そこでの簡単な読み書きの授業、給食、レクリエーションなども楽しかったですが、何よりもそこにいた先生方やスタッフの皆さんが、愛情たっぷりに接してくれたのが嬉しかったのを覚えています。

卒園後も制服や授業料、健康診断、栄養相談などの支援を高校卒業まで受けることができ、2014 年 9 月現在、私は大学 2 年生となり、社会科学部で歴史を専攻しています。大学を卒業して、両親や先生方、このプロジェクトのスタッフの方に、晴れ姿をお見せしたいと思っています。

最後に、私の長い道のりの先にある夢をかなえるため、たくさんのご支援をくださったプロジェクトチームの方々、この活動を支えてくださっている遠い国の皆様に心から感謝を申し上げます。

フィッシャーさん

メルカム幼稚園

2014 年 10-12 月、グッドネーバーズ・ジャパンは、個人寄付者のご支援によりメルカム幼稚園の 5-6 歳児（120 人）を対象に朝食と昼食を提供しました。

2014 活動報告

チャド

アッサラーム　アライクム！（こんにちは！）

遠く離れた国にもかかわらず関心をお寄せくださるサポーターの皆様へ恩返ししようと、グッドネーバーズ・チャド（GNC）では、2014 年、収入向上支援、飲料水や保健衛生事業など様々な分野で活動しました。

例えば、各地に 50 基の井戸を設置し、安全な水にアクセスできる住民の比率は（事業地において）20% 台から 50%ほどに高まりました。また、子ども達の非識字率が 40 ～ 50%というこの国で、二つの学校を建設しました。さらに GNC は、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）と合意書を締結し、難民支援を開始しました。

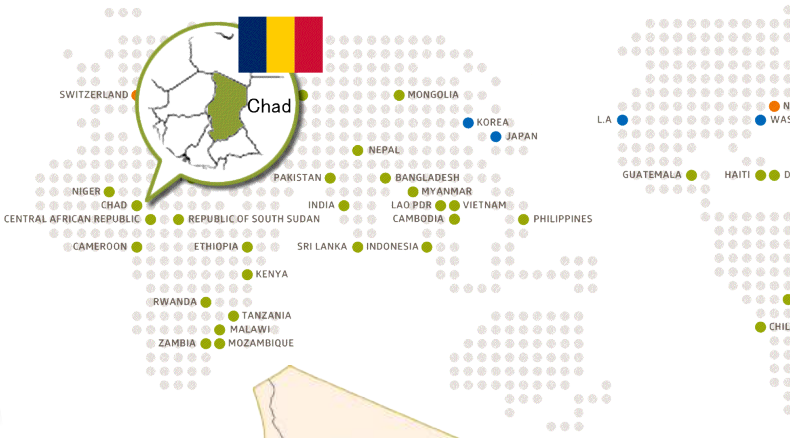
実は、このような活動の基礎には、地域住民の自発的な参加があります。持続的な発展のためには、一方的な支援ではなく、受益者である住民が我々のパートナーとして、自ら動くことが必須であるため住民の自発的な参加を促すよう努めました。2015 年は、収入向上支援に特に重点を置き、組合を公式登録して活性化させ、養殖や農業支援、マイクロクレジット事業を通して、地域住民の経済的自立を支えたいと考えています。

サポーターの皆様におかれましては、昨年一年間のグッドネーバーズ・チャドへのご支援に対し、改めて感謝申し上げます。2015 年も皆様が、「支援を続けてよかった」と思えるような報告ができるよう、スタッフ一丸となって努力してまいります。ありがとうございました。

グッドネーバーズ・チャド事務局長　パク・グンソン

活動地域

グッドネーバーズ・チャド　スタッフ一同



活動の成果

2014 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 製粉所のモデル事業売上が 37 ドル / 月（2012 年）から 650 ドルに増加。
- 6,861 人に健康診断を実施し、内 165 人に病院での治療を支援。
- 45,123 人が安全な水にアクセスできるよう、50 か所に井戸を設置。
- 支援を受けている小学生の卒業率が 90%（地域平均 68%）。
- UNHCR（国連難民弁務官事務所）の難民支援プログラムと連携し、685 人の難民に避難所と教育・仕事の機会を提供。

収入向上支援モデル事業の製粉所

井戸の水に大喜び

ナラスクールが完成

2014 年 11 月、故パク・ヨンハ広報大使の呼びかけで建設されたヨナスクールから 7 キロほど離れたところにある NALA 村に新しい小学校『ナラスクール』が開校しました。

ヨナスクールに歩いて通うのは難しい距離に住む 1-2 年生のために作られた、いわばヨナスクールの分校です。二つの教室と職員室、トイレ、定員は 170 名の小さな生徒達の小さな学校ですが、限りない未来が詰まっています。

完成した校舎の前で

カルトーマさん

ヨナスクールに通っています

私はカルトーマ・イドリッサ、ファシャアテレ地域に住む小学校 3 年生です。2010 年 9 月にグッドネーバーズの支援を受け始めたとき、村には病院も学校もありませんでした。

その後、地域開発プロジェクトが始まって、村の子ども達のために小学校（ヨナスクール）と診療所が建てられたので、友達と一緒に学校に通うことができるようになりました。 私には皮膚病があるのですが、定期的な治療を受け、状態ははるかに良くなりました。

緊急支援

中国雲南省地震緊急支援

災害： マグニチュード 6.5 の地震（2014 年 8 月 3 日）

地域： 中国雲南省 魯甸（ろでん）県八宝村

期間： 2014 年 8 月 15 日～ 9 月 2 日

対象： 330 世帯

内容： （一世帯あたり）一か月分の食料・衛生用品、寝具一式を含む生活用品

避難所

物資配布の様子

配布した干し湯葉を食べる少女

震源地に近い魯甸県八宝村にはおよそ 1100 世帯が住んでいましたが、今回の地震でほとんどの世帯が被害に遭い、土砂崩れに巻き込まれた 320 世帯の家は全壊し、多くの人がテント生活を余儀なくされていました。寒暖の差が激しいため毛布等の生活用品の必要性が高く、避難生活の終わりが見えない状況で食糧や衛生用品も必要とされていました。

※この活動は、一部ジャパン・プラットフォームの助成を受け実施しました。

パキスタン洪水緊急支援

災害： モンスーンの大雨による洪水被害（2014 年 9 月）

地域： パンジャブ州サルゴダ県

期間： 2014 年 11 月 8 日～ 11 月 27 日

対象： 410 世帯

内容： （一世帯あたり）食料・衛生用品・毛布

受益者インタビュー

インタビューした女性（中央）

「息子の家族と一緒に住んでいます。洪水で水が胸の高さまで上がってきたので、息子の助けを借り家の屋根の上に避難しました。わずかな服や食糧も屋根の上に運び、水が引くのを待ちました。

幸い家は無事でしたが、同じ敷地内にある別の息子の家は一部壊れ、飼っていた羊 2 匹が死んでしまいました。息子が働いている畑も被害に合い、収入が減ってしまいました。元から貧しい家庭であったため備蓄もなく、小麦粉、砂糖と石鹸をもらった後はすぐに使い始めました。」

※この活動は、一部ジャパン・プラットフォームの助成を受け実施しました。

フィリピン台風復興支援

災害： 大型台風 30 号ハイエン（2013 年 11 月 8 日）

地域： 東サマール州 ギワン市

期間： 2014 年 6 月～ 2015 年 4 月

対象： スランガン小学校、バルボ小学校

内容： 災害時の避難所としても利用できる校舎の再建

全壊した校舎

丈夫な校舎が完成

2013 年の台風で被害を受けた東サマール州ギワンでは、当初は屋根が崩壊した校舎で雨風の強い日は風でシートがなびくような中で授業が行われていました。備品もなく、教室も不足していたため授業時間の短縮や小分けされた数か所のテントへの往復など、先生も子ども達も授業に集中しづらい環境でした。その後、テントの仮設教室が設置されましたが、安心して長く使える丈夫な校舎の再建が望まれており、2015 年の 2 月に新校舎が完成しました。

※この活動は、一部フェリシモ地球村の助成を受け実施しました。

その他途上国支援

スリランカの子どもにおもちゃをプレゼント

地域： ラトゥナプラ県ニヴィティガラ郡

期間： 2014 年 4 月～ 7 月

対象： ガンディー幼稚園、ディレナタル幼稚園、
アルノダヤム幼稚園

内容： みんなで遊び、成長できるおもちゃの提供

机と椅子しかない幼稚園

絵本で楽しくお勉強

スリランカ南西部に位置する同地域には経済的に困難を抱える家庭が多いため、この地域の幼稚園は資金が足りず、遊びまわるスペースもなければ、おもちゃや遊具もなく、子ども達は幼少期の教育として必要な「遊ぶ機会」を持つことができませんでした。「この子達に、皆で楽しく遊び成長するためのおもちゃを贈りたい！」という想いからインターネット上で寄付を募るクラウドファンディングのサイト、「READY FOR?」を使い、３つの幼稚園におもちゃを届けました。

その結果、子ども達の学びや遊びの質がよくなっただけではなく、保護者の幼稚園に対する関心が高くなり、子どもの出席率も上がるという効果もでています。来年は自分の子どもも幼稚園に通わせたい、という保護者からの問い合わせも増えているそうです。

国内キャンペーン

「手紙を書く準備をしましょう。まず何を書こうか。そのためには、自分の心を知らなければなりません。どんなふうに書こうか。そのためには、相手の心を想像してみなければなりません。心が通じ合うことは、人間の最も自然な喜びです。勇気を出して、語りかけてみましょう。」

審査員の平野啓一郎さん（芥川賞作家）のコメントより

2014 年の夏休みに、全国の小学生を対象に「希望の手紙コンテスト」を実施しました。このコンテストは、バングラデシュに住む 12 歳の男の子アリフくんの生活を DVD で家族と鑑賞し、応援の手紙を届けるというものです。

両親のいないアリフくんは祖母や妹を養うために学校をやめ、工事現場で働いていました。彼の夢は、飛行機のパイロットになること。仕事を終えてどんなに疲れていても、夜は妹と勉強していました。家族を懸命に支える彼に、全国の小学生から手紙が集まりました。開催後のアンケートからは、このコンテストが親子で途上国のことを考えるきっかけになるのはもちろん、子どもの感受性や表現力などの新たな一面を見つける機会にもなっていたことがうかがえました。

アリフにお手紙を書いてみましょう！

最優秀賞作品

最優秀賞を受賞した加勢くん

僕へのお手紙待ってるよ!!

アリフへ

はじめまして。ぼくは日本にすむかせゆうだいと言います。今、小学校２年生です。

アリフ君の生活がぼくのせいかつとすごくちがっていておどろきました。学校に行きたくても行けない子どもがいること、子どもでもやるしごとがあること、ごはんが食べられない時があること、かぞくの他にたすけてくれる人がいないこと、どれも考えたことがないことばかりでした。少し悲しくなりました。それでもアリフくんは、強くてかっこよかったです。お父さんみたいにかぞくにごはんをたべさせていること、どんなにつらくても弱音をはかないこと、がんばりつづけていること、本当にすごいです。それと、1ばんかっこいいとおもったことは、どんなにつらくてもパイロットになるという大きなゆめにむけてどりょくをつづけていることです。

ぼくは、ラグビーの日本代表になりたいと思っています。まだじゅんびはできていないけどアリフくんのようにがんばっていきたいと思います。いっしょにゆめをかなえましょう。　　かせ ゆうだい より

現在のアリフくん

入賞した８名の手紙は、DVD の主人公、アリフくんのもとへ届けられました。

現在アリフくんはグッドネーバーズの支援で、妹と同じように毎日学校に行き、勉強に励んでいます。

ほかにもアリフくんの暮らしには大きな変化がありました。牛一頭と畑が支援され、アリフくんは牛に餌をやったり、水場で体を洗ったり、毎日大切に世話をしています。将来子牛が生まれたら、市場で売って生活の支えにしたい、と話してくれました。

グローバルな思考や、助け合うことの大切さを学ぶ一歩として、就学前の子ども達を対象に2013年に始まった、途上国の子どもの暮らしをDVDで見て応援の絵を描く『ちびっこおえかきコンテスト』。その第二回目が2014年11月から2015年2月にかけ実施されました。

DVDの主人公シュミラニちゃんは、バングラデシュに住む10歳の女の子です。お母さんの裁縫の仕事を手伝うため、学校に行くことができませんでしたが、「お医者さんになる」という夢のため、仕事が終わるとひとりで本を広げて勉強していました。

写真：母親の仕事を手伝うシュミラニちゃん

「当たり前だと思っていることが本当はどんなに恵まれていることなのかを親子で考えるきっかけになったのでは」（久保田さん総評より）

写真：特別審査員の久保田雅人さん（声優・タレント。NHK教育テレビ『つくってあそぼ』にワクワクさんとして出演）と、最優秀賞を受賞した飯島くん

最優秀賞

いいじま こうへい くんの作品

「映像の中で、夢を語っているシュミラニちゃんの瞳はきらきらと輝いていました。その姿が印象的だったのか、笑顔の彼女を描くと言って虹色の光に包まれた彼女を一生懸命に描いていました。」

こうへいくんのお母様より

優秀賞

さいとう ゆうき くんの作品

優秀賞

いとう なつ ちゃんの作品

現在のシュミラニちゃん

彼女は2014年11月からグッドネーバーズの支援を受け始めました。日雇い労働者だったお父さんは、支援を受けて雑貨店を始めたことで収入が増え、お母さんはリウマチの薬を処方されて定期検診を受けられるようになりました。家にはトイレと井戸ができ、家事の負担が減り学校に行けるようになりました。

今小学4年生の彼女は、「一生懸命勉強して、お医者さんになり、貧しさと病気で苦む人達を助けたい」と話してくれました。

国内キャンペーン

古着 10t キャンペーン

実施期間　：2014 年 9 月～ 2015 年 6 月

古着回収量：約 12.3t（12,281.4kg・のべ 767 人が参加）

支援金総額：64,440 円

古着の回収量に応じてオリジナルキャラクター『ねば子』が世界一周の旅をしながら、SNS でグッドネーバーズの活動を伝えました。

グッドネーバーズ・ジャパンは設立 10 周年にちなみ、ご家庭にある「いらない服」を 10 トン集め、途上国の子ども支援につなげる『古着 10t キャンペーン』を実施しました。服はブランド古着を取り扱う株式会社ベクトルを通して査定・換金され、その査定額に 10% を上乗せした額がグッドネーバーズ・ジャパンへの支援金となりました。古着は国内で再販され新しい持ち主の元で再利用されます。

このキャンペーンはメディアや口コミを通して広まり、大変好評をいただきましたため、2015 年 7 月から常設のキャンペーン『リサイフク』として再スタートしました。

国内イベント等

10ℓ チャレンジ ウォーク & 10 周年記念式典

写真上：チャドのある村での水汲み
写真左：ウォークの様子

日程：2014 年 11 月 30 日（日）

浜松町から東京タワーまで約 2 キロの道を 10 リットルの水を運びながら歩くイベント「井戸 for チャド～ I do for Chad~ 10ℓ チャレンジ ウォーク」を実施しました。これは、アフリカのチャドに井戸を作るためのファンドレイジング（資金調達）のためのイベントです。

イベントには、学生、社会人、グッドネーバーズ・ジャパンのサポーター・ボランティアの方々など 24 名が参加し、毎日水汲みのために歩く途上国の人々の生活の一部を体験し、安全な水にアクセスできることの大切さを考えました。

10ℓ チャレンジウォークの後は、滑走路が見渡せる羽田空港のホールで設立 10 周年記念パーティを開催しました。2004 年の設立以来、さまざまな国で実施してきた緊急支援や開発プロジェクト、啓発や収益事業の展開などは、サポーターをはじめとする多くの関係者の皆様のお力添えによるものです。あらためてお礼申し上げます。

10ℓ チャレンジ ウォークと、10 周年記念式典の売上 195,360 円は、チャドのブッソという地域での井戸建設事業のために使われます。

【ブース出展】グローバルフェスタ JAPAN2014

日程：2014 年 10 月 4 日、5 日　**場所：**日比谷公園

毎年参加している国内最大級の国際協力イベントにブースを出展しました。今回は、古着 10 トンキャンペーンの『ねば子』の等身大パネルも登場し、古着回収のキャンペーン参加を呼びかけました。

GOOD BOOKS　本を寄付して国際協力

開始：2014 年 9 月～　**URL：**www.gnjp.org/part/book.html

ブックオフオンライン㈱の宅配買取サービス『宅本便』と提携し、不要になった本、CD、ゲームソフトなどの買取額が当団体に寄付される取り組み『GOOD BOOKS』が始まりました。送料無料で自宅まで集荷に来てくれ、ダンボール一箱（30 点以上）から寄付できます。

ESD ユネスコ世界会議に出席

開始：2014 年 11 月 10 ～ 12 日　**場所：**名古屋国際会議場

ESD とは日本が 2004 年に世界に提唱した『持続可能な開発のための教育』のための理念です。10 年目の ESD が世界中でどんな成果をあげてきたのか、今後はどうしていくのかがこの『ESD ユネスコ世界会議』で議論されました。（写真のスクリーンに映っているのは潘 基文 国際連合事務総長）

青少年育成

smiloop がグッドネーバーズ国際本部を訪問

日程：2014 年 10 月 16 ～ 20 日

国際協力に携わりたい、という若者達が集まったグッドネーバーズ・ジャパンのユースグループ『smiloop』。結成二年目となる 2014 年は、グッドネーバーズについての知識を深め、広報やファンドレイジングのノウハウを学ぶスタディーツアーを自ら企画し、メンバー 4 人が韓国のグッドネーバーズ国際本部を訪問しました。

ネットワーク

児童労働にレッドカード！

日程：2014 年 6 月 1 日～ 7 月 13 日

6 月 12 日の『児童労働反対世界デー』に合わせ、当団体が会員団体として登録している児童労働ネットワーク主催の、『レッドカードアクション』にスタッフで参加し、児童労働に反対する意思表示を示しました。

現在、世界では 1 億 6800 万人 (国際労働機関、2013 年推計)、5 歳から 17 歳の子どもの 9 人に 1 人が苛酷な児童労働についています。子どもたちの未来を奪う、この問題に今後も取り組んでまいります。

会計報告

2014 年度収支計算書（2014 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日）

収入の部

（単位：円）

Ⅰ　経常収入の部		
寄付金収入		29,589,558
助成金等収入		55,861,132
助成金収入	33,389,561	
グッドネーバーズ本部補助金収入	22,471,571	
事業収入		1,135,934
その他収入		24,907
経常収入合計		86,611,531
Ⅱ　その他資金収入の部		
前期繰越金		11,762,030
収入合計		98,373,561

支出の部

Ⅲ　経常支出の部		
1　事業費		
(1)開発途上国等の子ども達並びにその家族および地域社会のための地域開発支援事業	22,454,400	
(2)開発途上国等における、大規模自然災害または紛争等の発生時における緊急人道支援および復興支援	42,582,977	
(3)地域開発支援事業への支援者と、開発途上国の子ども達ならびにその家族および地域社会との間の相互理解の促進	5,434,884	
(4)国際協力に対する日本の人々の理解を深める啓発事業	7,367,639	
(5)国際協力に参加する機会を広く日本の人々に提供する普及活動	5,892,414	
事業費合計		83,732,314
2　管理費		4,296,901
経常支出合計		88,029,215
Ⅳ　その他資金支出の部		
法人税、住民税および事業税		23,300
次期繰越金		10,321,046
支出合計		98,373,561

当期収支差額	0

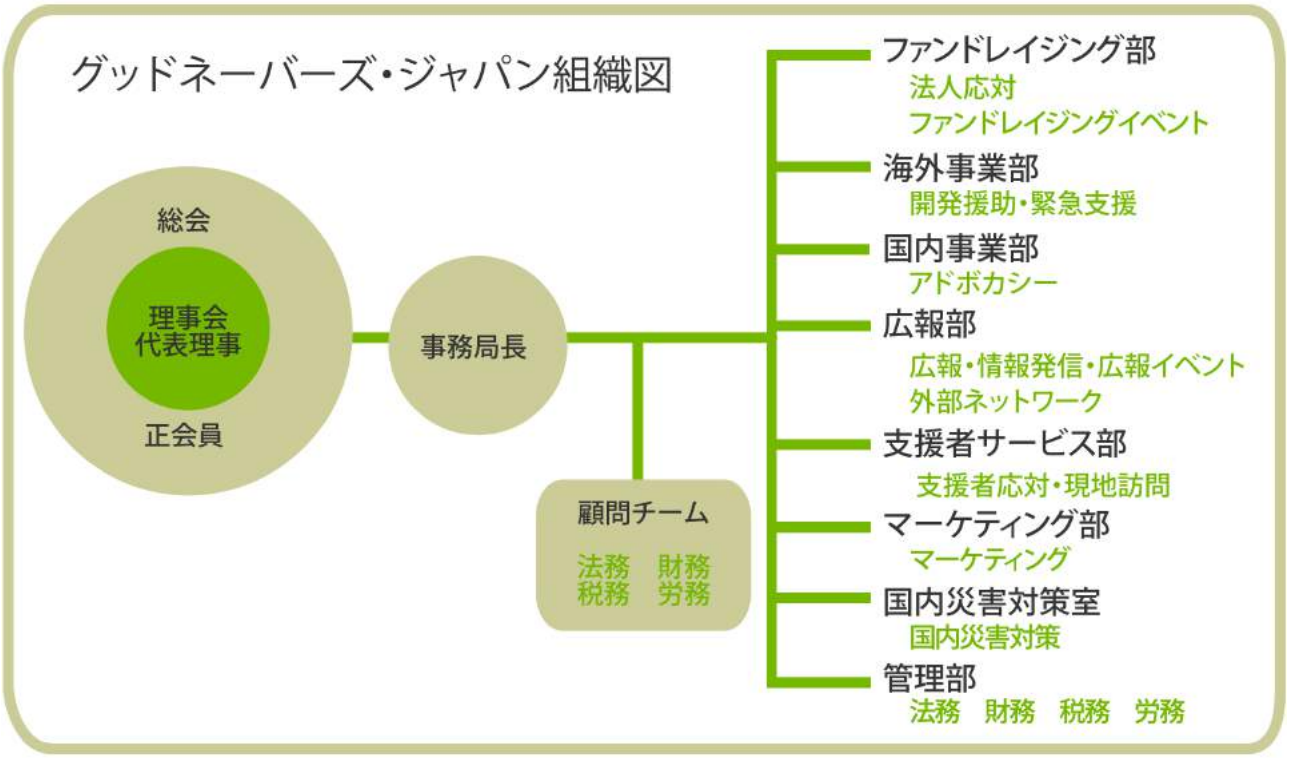
貸借対照表（2014 年 12 月 31 日現在）

（単位：円）

Ⅰ　資産の部		
1　流動資産		
現金預金	8,828,660	
未収金	1,869,036	
貯蔵品	14,744	
仮払金	0	
緊急支援等事業特定資産	1,738,667	
流動資産合計		12,451,107
2　固定資産		
敷金	803,500	
固定資産合計		803,500
資産合計		13,254,607

Ⅱ　負債の部		
1　流動負債		
未払金	2,411,227	
預り金	499,034	
未払法人税等	23,300	
流動負債合計		2,933,561
2　固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		2,933,561
Ⅲ　正味財産の部		
前期繰越正味財産		11,762,030
当期正味財産増減額		△1,440,984
正味財産合計		10,321,046
負債及び正味財産合計		13,254,607

組織概要・役員一覧



理事・顧問

代表理事：　福井　玲　（東京大学教授）
副代表理事：窪　誠　（大阪産業大学教授）
常務理事：　小泉　智　（グッドネーバーズ・ジャパン事務局長）
理事：　韓　福相　（大阪産業大学教授）
　　李　健泳　（新潟大学教授）
　　李　一夏　（グッドネーバーズ・インターナショナル会長）
監 事：　小林　貴　（株式会社奈良屋代表取締役）
法務顧問：　金子　憲康　（弁護士）
財務顧問：　あさひ会計事務所
労務顧問：　淺井　浩次　（特定社会保険労務士）

Accountability
Self-Check 2012

これは、JANIC の「アカウンタビリティセルフチェック 2012」マークです。JANIC のアカウンタビリティ基準の 4 分野（組織運営・事業実施・会計・情報公開）について当団体が適切に自己審査したことを示しています。

加盟団体・参加ネットワーク

JANIC（国際協力 NGO センター）/ JPF（ジャパン・プラットフォーム）
CL-Net（児童労働ネットワーク）/ なんとかしなきゃプロジェクト
JNNE（教育協力 NGO ネットワーク）/ 日本ファンドレイジング協会
「動く→動かす」（GCAP Japan）/ NGO-JICA 協議会
CSR 推進 NGO ネットワーク / 子どもの権利条約 NGO グループ / 日本

認定 NPO 法人 グッドネーバーズ・ジャパン
〒 143-0016　東京都大田区大森北 2 丁目 14-2　大森クリエイトビル 3 階
TEL：03-6423-1768　FAX：03-6423-1766　E-MAIL：admin@gnjp.org
HP：http://www.gnjp.org　Twitter：@GNJapan　Facebook：facebook.com/gnjapan